

岩石が岩海をつくるまで

花崗せんりょく岩のいろいろな風化

物理（機械）的風化…^{ぼうちよう}鉱物の膨張により、岩石に割れ目ができ小さく分解していく。

化学的風化…岩石の構成物質が酸化や炭酸化、加水作用受け、異なる物質になり分解される。

生物学的風化作用…岩石に植物の根などが入りこみ、岩石を分解していく。

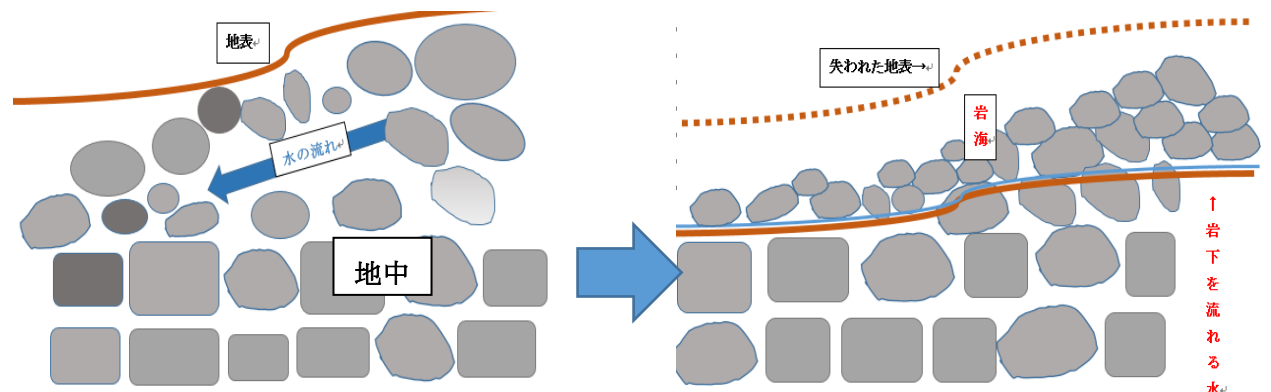


花崗せんりょく岩が風化してマサ土になるまで

<p>① 大地が隆起すると、岩盤は冷やされ体積が収縮をくり返し、割れ目（方状節理）ができます。その上を覆っていた岩石はだんだん侵食され削られます。</p> 	<p>② 割れ目で離れていき、岩の塊ができます。地表近くに達した岩の塊は風化・侵食を受け集積します。</p> 
<p>③ 岩塊が丸みを帯びていきます。岩の角からたまねぎ状に風化が進み、角の部分が丸くなります。</p> 	<p>④ 剥離現象が起き、岩の表面がひび割れ、はがれていきます。</p>  
<p>⑤ 地表の大きな岩に破碎現象が起き、岩の表面から内部へと風化が進み、割れて小さくなっていきます。</p>  	<p>⑥ マサ土になっていきます。 マサ土…風化してできた砂状の土（内部のかたい部分は残ります。）</p>  

マサ土はどこへ？

地中での岩石の風化は少なくとも、地表から数 10m の深さで起こります。（深層風化）
マサ土は進行すると、岩海は埋没したり植物に覆われたりしていくはずですが。



★岩海のある斜面は、水が集まりやすい谷であることから水のカも強く、雨でマサ土や砂れきは洗い流されて底に沈められます。そして、底を流れていく地下水(底流)によって下方に運び去られているため、内部のかたい部分(コアストーン)のみが残され、岩海をつくっています！